



↑ New 今月の一枚は昨年(2005年)に続き2回目となった「エコ・レクチャー」の様子です

2006年7月通算第21号

2006年6月・サッカーの熱い季節

あれから4年、仙台で、宮城で、そして、ドイツで熱い応援が繰り広げられました。今回はイタリアの優勝で幕を閉じたワールドカップを特集しました。そして8月、バスケットボールのワールドカップが私たちのまちで開催されSVもサポートします。

ボランティアについて

WM2006のボランティアは大別して「開催地ボランティア」「FIFAボランティア」の2種類です。開催地ボランティアは都市が集めたもので、私が出会ったのはカイザースラウテルンとシュツットガルトのボランティアでした。カイザースラウテルンの開催地ボランティアは赤いユニフォームを着用、パラソル付きの丸いカウンターを基点として市内の案内を行っていました。シュツットガルトで出会ったの開催地ボランティアは、遊軍だったのかスタジアムへ向かう最寄り駅でやって来た日本人に対して街の地理と見所を案内していました。シュツットガルトでは日本戦がないのに現地在住日本人がボランティアをやっていました。FIFAボランティアに応募したらはずれたので開催地ボランティアに応募したそうです。FIFAボランティアは水色に肩から腕部分がオレンジ色の線が入ったユニフォームで場内の案内担当が主でした。日本戦では言葉が通じないので苦戦していました(笑)

場内のボランティアは結構自由がきいていて、邪魔にならない場所で試合を見たり応援のメロディに合わせたりしていました。セキュリティ担当は黒い(濃紺?)上下にオレンジのベストのユニフォーム。ゲートでの手荷物とボディチェック、入場のチケットチェック、客席へ入る時のチケットチェック場内警備を行っていました。試合後にリユースカップを集めて小遣い稼ぎをしている人もいました。1カップあたり1ユーロ戻るので20個も集めると3000円ほどになります。



環境について

ドイツでは基本的にゴミになるものは極力市場に出さないという考え方です。ビールなどの飲料水はスタジアム内ではリユースカップのみ、パン等の食べものは紙の袋を使用。場外ではビールはビンが基本です。ペットボトルにもデポジット制を取っているメーカーがありました。これらデポジット付きの容器はホームレス?のみならず家庭の主婦?でもゴミ箱から回収して、しっかり換金していました。

【 報告 佐々木 昇 SV管理担当 】

◆ 写真をもっとご覧になりたい方は <http://homepage.mac.com/belta/WM2006/> に掲載されています。

ドイツ報告

5月中旬、突然職場の人から声をかけられ、ドイツに行けることになりました。チケットを見るまでは行けるかどうか半信半疑でしたが、結局、チケットを見たのはドイツのホテル着いてからでした。私が行ったのは対ブラジル戦のみの3泊5日の観戦ツアーでした。宿泊したデュッセルドルフの町は各国の国旗やサッカーグッズがあちこちにディスプレイされていました。試合当日はバスで高速(アウトバーン)を2時間半かけてドルトムントへ向かいました。途中何度もブラジル人たちが乗ったバスと並び、その度に双方とも拳をかざして牽制し合いました(笑顔で)。試合開始3時間前にスタジアムに着きました。まだ、車はまばらで降りてから、20分ほど歩いたところに1番目のゲートがあり、女性は女性スタッフの所に並び、セキュリティチェックを受けました。ゲートから次のゲートまでがサッカーパークで、飲食店やグッズ販売や案内などのテントが所狭しとあり、大勢の人で賑わっていました。プラスチックに入ったビールは、容器を返すと1ユーロかかってきました。ボランティアは主に案内を担当していました。スタジアムの中にも同じ服装で案内をしていました。ガムを噛んだり、試合を見てたり、自由な感じでした。2番目のゲートはチケットチェックで半券を切ることもなくスムーズに通過しました。試合終了後は45分ほどで駐車場に戻ることが出来ました。65,000人がどのようなルートで帰ったか

は分かりませんでした。ごみの回収もよく分かりませんでした。

試合の翌日はケルンに行きましたが、駅前にはサッカー一色で、駅の天井には各国の代表選手のフレスコ画が描かれており、見ていたらドイツ人だと思いが、日本人プレーヤーは誰かと聞かれました。どこのレストランも何台ものテレビを置き、サッカー放送を流してました。街のあちこちにインフォメーションの看板があり、学生風のボランティアが案内してました。私も案内板を見てたら、足で蹴って走るスクーター？に乗ったボランティアが飛んできたのにはびっくりしました。英語で親切にレストランへの道を教えてくれました。ドイツビールとソーセージを堪能しました。白アスパラは食べ損ないましたが、今も行けたことが夢のようです。

【 報告 斎藤 千枝子 SV研修班 】

みやぎNPO夢ファンド助成決定

昨年研修班が実施した「スポーツボランティア講座」(基礎編)の成果をうけて、本年もSVはみやぎNPO夢ファンドに応募し、無事、本年度も15万円の助成が決定しました。今後、リーダー対象のボランティア講座を開催いたしますのでお楽しみに。

【助成決定までの流れ】

- ◆ 4月10日 申請手続き
- ◆ 5月20日 コンペ (みやぎNPOセンター)
- ◆ 5月25日 助成決定

SV活動報告(6月)

- 6月 5日(月) 理事会 (8名参加)
 - 6日(火) 89ERS打合せ
 - 9日(金) フルスタ・リーダーミーティング
ワールドカップ・ドイツ大会開幕
 - 10日(土) 第5回ワールドカップの集い
 - 11日(日) スポーツエコレクチャー
 - 13日(火) バasketボール世界選手権ボラ募集
(~30日)
 - 18日(日) クロアチア戦パブリックビューイング
- この期間はFIBA(バasketボール世界選手権実行委員会)と連携、ボランティアを募集し49名の申し込みでした。

サポートセンター移転

私たちSV2004の拠点(連絡先・研修などの会場)となっていた本町の「仙台市市民活動サポートセンター」が7月末にて一旦閉鎖され、**9月1日より**は新しい場所にオープンします。

新住所・連絡先

仙台市青葉区一番町四丁目1-3

電話 022-212-3010 (変更なし)

FAX 022-268-4042 (変更なし)

- ◆ 8月の休業期間中の郵便物・FAXは代表の泉田宅まで転送されますのでご了承下さい
- ◆ レターケースNO. 50はかわりません。

これからのSV活動のお知らせ

- ◆ 8月10日(木) SVごみ処理施設見学会開催
前回好評でしたワケルくんバスでの「ごみ処理施設見学会」を開催します。ぜひご参加下さい。
- ※ 9時45分集合 ・10時出発 ・16時解散(予定)
- ※ 募集人員 40名(先着順とさせていただきます)
- ※ 見学施設 葛岡清掃工場・葛岡リサイクルプラザ
古紙回収山傳商店
- ※ 申し込み 090-2796-9954 SV環境担当まで

会員募集中！自主企画も含めたSV活動全般に参加する正会員とボランティア活動のみを行う準会員・活動趣旨に賛同するサポート会員があります

【入会方法】

- ◎ 正会員 … 年会費3,000円 ・ 学生は1,500円 (年度は4月~翌年3月)
- ◎ 準会員 … 年会費500円 ◎ サポート会員 … 年会費2,000円
- ◎ お支払い方法…郵便振込み 郵便口座 18190-25930651 SV2004まで(振込み料はご負担願います)
または、SVが主催するイベント会場にて入会を受け付けます。(イベントはホームページでご案内します)
- ◎ 申し込み先 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-8-15 市民活動サポートセンター SV2004
レターケースNO. 50 (必ずレターケースNOをご記入ください)
- ◎ お問い合わせ 電話 090-2360-2641 メール izumita@dm.mbn.or.jp
- ◎ ホームページ <http://www.miyagi-sports.net/sv2004/>